

モールスチャンネル

モールス符号を覚え

て交信をしよう

・J I 3 I C Y ・J N 3 D G F

1 私がアマチュア無線を始めた頃

○雑誌ラジオの製作でその存在を知る

- ・自分で電波が出せることは素晴らしい
- ・2年間「アマチュア無線教科書」で勉強する

○2mSSBは先生がいっぱい居た

- ・アマチュア無線は人と人の出逢いが素晴らしい
- ・あるOMと出逢い「ウチに来なさい」と招待された
- ・無線室にあった電鍵を見て衝撃を受ける
- ・「カッコいいなあ」
- ・CWと自作に挑戦する決意をした

2 CWの魅力 その①

○ピーピーだけの交信。何が面白いのか

- ・CWを知らない人は面白くないと決めつける
- ・欧文CWは略符号で交信。能率が非常に良い
- ・短い交信なら10秒から20秒で終わる
- ・CWは1種のデジタルだから聞き間違いは無い

○静かに運用できる

- ・SSBは声を張り上げて交信する時もある
- ・CWはキーを叩く音が僅かにするだけ

○CWモードはノイズレベルが低い

- ・FM、SSBは言葉で通信をする
- ・CWは**信号の有無**で通信をする
- ・250Hzのナローフィルターを入れれば本当に静か
- ・低いノイズレベルだから**長距離通信が可能**

○144MHz帯で何処まで飛ぶか

- ・設備は**京都市内のビルの谷間**の小さなGP
- ・**東は浜松市、西は福山市**。相手局もGP
- ・CWはFT8とSSBの間ではないか

3 CWの魅力 その②

○短波帯なら海外との交信が容易

- ・今はサイクル25のまっただ中。DXよく聞こえる
- ・CWは競争相手が少ない。ローパワーでも交信可
- ・50W出力で小さなアンテナでも十分楽しめる

○英語が分からなくても交信はできる

- ・略符号を使うので国内交信とほぼ同じ
- ・DR MY FRIEND KOU と送信された事もある
- ・海外局はおおらかで心の広い人が多い

4 CWの魅力 その③

○符号だけでもコミュニケーションは取れる

- ・符号だけでも相手局の感情が伝わってくる
- ・了解の「R」、レポートの「599」、ありがとうの「TU」

○相手局はOMさんかYLさんか？

- ・SSBでは「OM局」か「YL局」かは声で分かる
- ・CWは符号だけなので区別がつかない
- ・分かるのは交信を始めて名前の送信があった時
- ・OM局の場合、「TAKA」「YOSI」「HIDE」など
- ・YL局の場合、「KEIKO」「YOKO」の下の名前

5 CW符号をどうやって覚えるか

○人間は忘れる動物である

- ・覚えたことを何時までも忘れないと、どうなるか
- ・悔しい事、悲しい事を何十年たっても忘れないと、心を病み、憂鬱な毎日が続く
- ・忘れるから毎日の聞き取り練習が必要になる

○CW符号を覚える人と覚えられない人

- ・符号を覚えられる人は、毎日練習を続ける人
- ・符号を覚えられない人は、2日3日で止める人
- ・符号の聞き取りは1日10分の練習を続けること

○CWは難しい問題を解くことではない

- ・CWは科学や物理の難しい問題を解くのと違う
- ・CW符号の聞き取り練習は**単純作業の繰り返し**

○CW符号を覚えるための第一歩

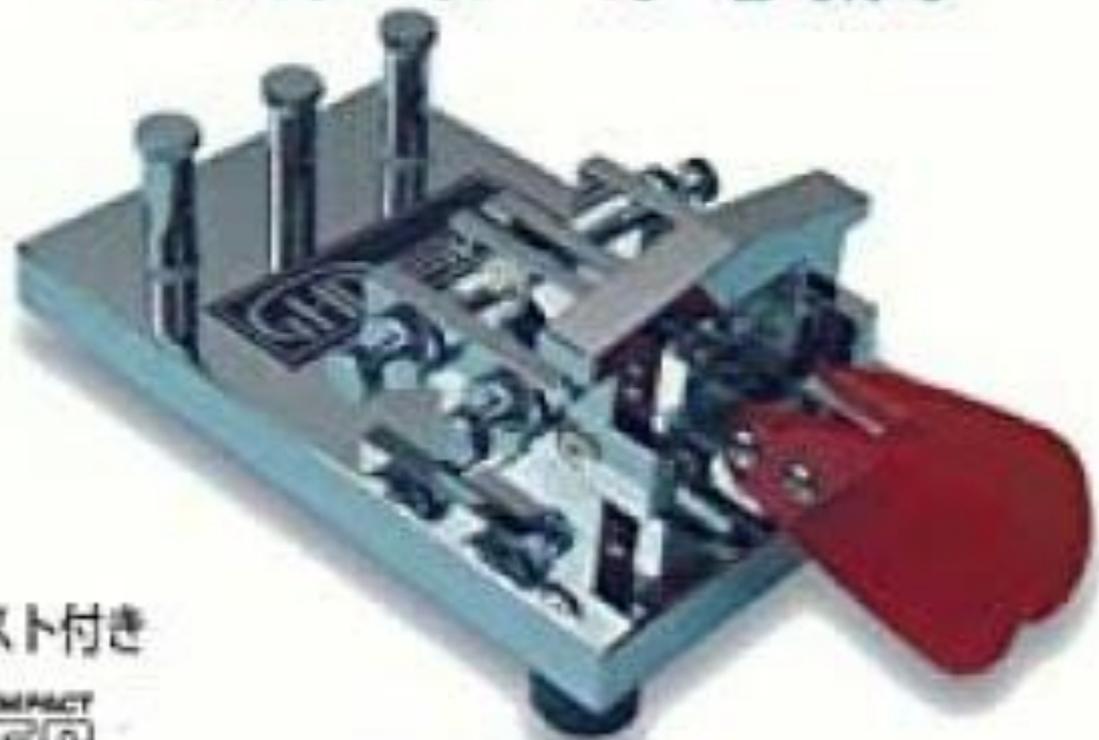
- ・符号表を見て覚えず、**いきなり符号音を聞く**
- ・但し符号音の**音源だけ**のものを聞くのはダメ
- ・分からない符号音を聞いても分かる訳がない

○音源は音感法の符号音が最適

- ・音感法は**符号音の後に文字のアナウンス**がある
- ・「**欧文入門編**」でネット検索すれば出てくる
- ・電鍵の写真が目印。**CQ出版社**が配信している

CQ MORSE CD No.1 モールス符号暗記用
25字/分

欧文入門編



テキスト付き

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CQ出版社

○符号の聞き取り練習は1日10分で充分

- ・集中して聞けるのは1日10分程度
- ・30分、1時間続けても能率は上がらない
- ・1ヶ月聞けば変化が。3ヶ月で先が見えてくる
- ・但し、毎日続ける事。人間は忘れる動物だから

○お勧めしない練習法

- ① ネットでは高速の音源を勧める人もある
 - ・しかしこの方法で何人もの人が挫折している
- ② 合調法 「A」アロー 「B」ビートルズで覚えるはダメ
 - ・文字に合う言葉を探すクセから抜け出せない
 - ・符号が速くなると、付いていけず地獄を見る

○26文字を完全に覚えれば速度アップ

- ・毎分30文字(6ワード)~40文字(8ワード)を聞く
- ・毎分60文字が余裕で聞き取れることを目指す
- ・ここまで来れば毎日の練習を休んでも忘れない

○無線機をONにして実際の交信を聞く

- ・短波帯は過酷な環境、訳が分からないが聞く事
- ・V・UHF帯は環境がよいが、和文交信が多い
- ・自分に合った電鍵で送信練習を始める
- ・どんな形でもよいのでファーストQSOに挑むこと
- ・コールサインと599の送信で交信は成立する
- ・CWの上達は交信を重ねることで進化してゆく

6 アマチュア無線技士としての誇り

○上級の資格を持てば自慢したいが

- ・大事なのは資格に応じた知識と技能を持つ事
- ・自分の資格を語るのは本当に勇気がいらいます
- ・相手は知識と技能を持っている人だと見るから

○こんな人がおられました

- ・自作アンテナで強い電波、高速の和文CWも熟す
- ・1アマとっていたら、いえいえ私は3アマです
- ・街中では50Wが限界。200W出せば影響が心配
- ・アマチュア無線は楽しい。和文が出来れば最高です